

ガーデンシティふかや推進室 [ふかや緑の王国・深谷市櫛引24-2(花植木流通センター隣)] ☎551-5551

花を愛し、人を愛し、地域を愛するまちづくり!!

第17回あかり展

優しさに満ちあふれた心温まる“あかり”を見に来ませんか。幡羅小学校の児童が制作したあんどんや、ふかや緑の王国ボランティアが制作した中世ヨーロッパの街並みをイメージした陶器のオブジェなどを展示します。また、花とキャンドルの教室ラバンヌーボの『#チーム灯火』によるキャンドルナイト（展示、販売）も行います。

とき 11月14日(金)・15日(土)午後5時～8時（雨天中止）※キャンドルナイトは15日のみ **ところ** ふかや緑の王国
持ち物 懐中電灯

※車でお越しのかたは、ふかや緑の王国隣の花植木流通センター駐車場をご利用ください。



▲あんどん



▲陶器のオブジェ



▲キャンドルナイト（15日のみ）

緑の王国クリスマスリース販売

王国ボランティアが手作りのクリスマスリースと花苗の販売を行います。

とき 11月15日(土)午前10時～正午
ところ ふかや緑の王国温室内



深谷駅北口ステーションガーデン&青淵広場イルミネーション

公共花壇の一つであるJR深谷駅北口ステーションガーデンと、渋沢栄一翁の銅像があるJR深谷駅前の青淵広場を、約2万個のLEDで飾り付けます。温かい光に包まれた駅前や、『青淵』と栄一翁の生家で営まれていた藍玉づくりにちなんで、藍色にライトアップされた青淵広場のイルミネーションをぜひご覧ください。

とき 11月11日(火)～令和8年1月8日(休)日没からJR高崎線の終電まで
ところ JR深谷駅北口ステーションガーデン、青淵広場



『クリスマスリースづくり教室』参加者募集

ヒバやヒムロスギなどのプリザーブドフラワーを使ってリースを作ります。

とき 11月26日(水)午前10時～11時30分
ところ ふかや緑の王国 **定員** 20人（抽選）
参加料 2,500円（材料費を含む）

講師 よしもと 紀氏・なかむら 穂氏（㈱日比谷花壇）

申し込み 11月5日(水)午前9時から10日(月)午後5時までに電子申請（右記QRコードからアクセス）
※1回の申し込みで2人まで
※電子申請ができないかたは電話で申し込み可



▲作品イメージ
※当日使用する花材と異なる場合があります



SNSのご紹介

ガーデンシティふかや推進室ではSNSを活用し、園内のお見どころやイベント情報などの最新情報を発信しています。ぜひフォローをお願いします。



▲X (旧ツイッター) ▲フェイスブック ▲インスタグラム

12月3日(水)～9日(火)は障害者週間です

☎571-1011・☎574-6667 障害福祉課

『障害者週間』は、障害の有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合う共生社会の実現を目指す週間です。障害者の自立および社会参加を促進し、住み慣れた地域で豊かに安心して暮らすことができる環境づくりに、ご協力をお願いします。

障害に関する各種相談などはお気軽に以下の窓口へ

障害者やその保護者などへの各種相談、情報提供、権利擁護のために必要な援助を行っています。

相談支援センターいっきゅう（☎577-5524・☎574-6667・仲町11-1 深谷市役所障害福祉課内）
対象 知的障害者、身体障害者、精神障害者、難病患者
相談時間 月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分（木曜日は午後7時15分まで）

深谷市障害者虐待防止センター（基幹相談支援センターうらら内）（☎070-3666-1199・境168-1）
虐待に関する通報や相談を受け付けています。
対象 知的障害者、身体障害者、精神障害者、難病患者
相談時間 年中無休・24時間受付

深谷市障害者基幹相談支援センターうらら（☎551-8777・☎551-8778・境168-1）

対象 知的障害者、身体障害者、精神障害者、難病患者
相談時間 月～土曜日 午前8時30分～午後5時30分

地域生活支援センター向陽（☎599-2020・熊谷市石原519-5）

対象 精神障害者 **相談時間** 月～土曜日 窓口＝午前9時～午後5時・電話＝午前9時～午後5時15分

相談支援センターYeast（療育相談）（☎577-3540・山河1058-3 ワークショップ・チボリ内）

対象 0～18歳の児童（障害のある児童を含む）
相談時間 月～土曜日 午前8時30分～午後5時15分

絵画、書、手工芸品などの作品を展示する『深谷市障害者文化・芸術祭』を開催します

土・日曜日午前10時～午後2時、月曜日午前10時～正午は、授産製品の販売も行います。

とき 11月8日(土)～10日(月)午前9時～午後5時（10日は正午まで） **ところ** 上柴公民館大会議室2

11月11日『青淵忌』



渋沢栄一は、1931（昭和6）年11月11日午前1時50分に、91年の生涯を閉じました。亡くなる前月に体調を崩し、飛鳥山（東京都北区）の渋沢邸で療養する栄一のもとには、多くの見舞客が訪れました。そして、亡くなる数日前、栄一は見舞客への伝言として「長い間お世話になりました。私は百歳までも生きて働きたいと思っておりましたが、今度という今度は、もう起き上がれそうもありません。これは病気が悪いので、私が悪いのではありません。死んだ後も私は皆さまの事業やご健康をお守りするつもりでありますので、どうか今後とも他人行儀にはしてくださらない

ようお願いします。」と、看病に当たる家族に託しました。葬儀の行われた11月15日、飛鳥山から青山斎場までの沿道の家々には、弔旗が掲げられ、整列した学校や諸団体などの多くの人々に、栄一は見送られました。谷中霊園（東京都台東区）にある渋沢家の墓地には、今も香華の絶える日はありません。栄一の祥月命日である11月11日は、栄一の雅号にちなんで『青淵忌』の名称で、その遺徳をしのぶ行事が市内各所で催されます。JR深谷駅北口の青淵広場内で行われる栄一翁銅像献花は、今年で31回目を迎え、八基公民館での「にっぽん会」では、栄一が帰郷時に喜んで食べたという煮ほうとうを遺影に捧げ、栄一の長女歌子作詞の八基小学校校歌が斉唱されます。また、市内の小・中学校では、祥月命日近くに煮ほうとうが給食に出るなど、青淵忌は、こどもから大人まで、栄一に思いをはせる日となっています。



▲青淵渋沢栄一翁銅像献花式

香華：仏前に供える香と花のこと